

空知南組組報

KUNAN



正 滝 寺 (寺院紹介はP 6)

言葉のプレゼント

天命に安んじて

人事を尽くす

(清沢満之)

空知南組定期組会開催

組相談員・藤堂征彦記

平成五年四月三十日午後三時より、岩見沢ホテルサンプラザにて定期組会を開催（二十四ヶ寺二十八名の出席）

大安寺・川原信明組長の挨拶に始まり、平成四年度業務及び活動報告並び収支決算報告、平成五年度事業及び予算計画審議。その他の懸案として、空知南組護持口数の調整に関する件並び空知南組運営規定改正の件等重要な事項の諸々について組参加者各位より熱心な審議を頂きました。また、報告事項の中では基幹運動研修会教区助成の交付金が予算より減額となつた報告には、再々審議が中断致しました。（執行部では例年通り教区に対して申請書類を提出致しましたが、提出書類の内容に重複が有り審査に於いて否決されました）

基幹運動研修会の各部門が併修をする場合、この点を注意をする必要等指摘受けました。今年度申請書類にはその点を十分反省し気

を付けて提出致します。

護持口数の件については、教区より空知南組に対して「二千七百九十一口」の配分が提示されています。この件につきましては、新規に空知南組口数調整委員会を設置され、委員会にてまとめられた案を叩き台として臨時組会にて決定されることとなりました。

運営規定改正の件については、委員会にてまとめられた案を叩き台として臨時組会にて決定されることとなりました。

運営規定改正の件については、現職の門徒委員の方の逝去されたことに対して、弔意を表す規定がないのでその点を改正致しました。以上、全ての事項に慎重審議いただき承認され平成五年度定期組会を終了致しました。

今年も皆々様の御協力を賜わり、基幹運動推進を計って行きたいと念じおります、宜しくお願ひ申し上げます。

合 掌

長い間御苦労をいたしました

住職退任式にのぞんで

警報寺前任職 天野 紹 道

去る五月二十七日新緑薫る本山阿弥陀堂に於いて行なわれた第五回住職退任式に参加させて頂き感慨新たなるものがありました。

平成四年度住職退任者総計三百九十名（物故者百四十三名）

私事住職在任二十八年という短い期間でありましたがお蔭をもちまして仏相のご加護と寺族、門徒の協力により警報寺第十八世住職としての責任をどうやら全うできた事感謝している次第です。

住職の責務は一つには寺門の運営管理であり、二つには門信徒の教化活動であると思いますが、就任当初は責務の重大さにいささか不安を感じたことがありました。老朽化した本堂の修理、時代に即応した庫裡の新築、又時代の進展に伴う寺門維持運営等々でありましたが、若院時代仏書運動で歩みを共にした門徒総代を中心に檀徒一同の協力のもと、これらの事業と責務を全うできたものと思います。

二十八年間在任して感じたことは、寺門の繁栄は教化活動をおろそかにしては有り得ないと痛感したことです。それにしても先々代住職よりの遺訓「自信教人信

世に教人信の人多し、我子、自信即人信たらんことを希むのみ」の遺訓を心して退任後は責任は新任職に移行されましたが「自信即人信」念仏弘道のため協力していかなければならないと決意をあらたにしたこととございます。

西本寺前任職 藤 堂 西 涯

最近、末期患者のケアに就いて、病院が在宅かで問題になっております、病人本位か、家族中心か、医師に任すべきか、難しい問題です。

釈尊は因縁と云いますから、自然にお任せ致しますよう。

人生の終局に向かう生き様の中に一本、お念仏の太い棒を入れて頂きました。有難い事です。「南無阿弥陀仏を聞き取って、念仏する者は仏になる」。一筋に之の道を歩いて参ります。

□に南無 耳に南無や 去年今年

西本寺前坊守 藤 堂 憲 子

昨年、古希を節目として、坊守の座を退きました。これからは、一日一日を大切に、私なりのご報謝の道を歩んで参りたいと考えて居ます。長い間のお力添え、誠に有難うございました。これからも変わらぬご交誼の程、お願い申し上げます。

南インド・スリランカ仏蹟参拝記

団長 名 和 健 成

二月十四日より二十七日までの二週間、南インド（エローラ・アジャンタ）、スリランカ（仏歯寺・他）をお参りしてきました。

スリランカは、たとえていうなら常夏のハワイのような雰囲気。それに対して、南インドはアフリカのように。小犬と大熊の違いがあります。

メンバーは、年長の草薙さんか



ら、西本寺さんの長男、誓報寺さんの子供二人まで一行九名。まるで一家族がそろっていったような楽しい旅でした。

しかしその反面、途中インドで線路の爆破事故があり列車が通れなくなったことや、しかたなく次の駅までの百五十キロを夜間タクシーで移動した時カーチェイスの



ごときスピードで走られたこともありました。もしその列車に乗っている時に爆破されたらとか、タクシーが事故を起こしていたらなど、今思い出すと改めて恐ろしくなってきました。

今回の旅で、お釈迦さまのみ教えを今私が聞かせていただいているということ、いかにすばらしい事なのかがつくづく思い知らされたことでした。

「インド・スリランカを旅して」

天野 広 道

僕は、今回の旅で一番印象に残ったのは、キャンディーの仏歯寺というお寺でした。話しによると、そこにはお釈迦さんの歯があり、僕たちの他にもたくさんのお観光客でごった返していました。そのお寺の中では、本当は遠くからしか、

です。僕は今回の旅行で色々なことを学びました。仏教のこと、遺跡の勉強、そして、生活の違い、今まで知らなく、興味のない話だったのが、今ではもっと知りたと思うようになりました。旅行中には、もう行きたくない、帰りたいと言っていました。もう一度勉強してから行ってみたいなあと思います。本当に楽しく、勉強になった今回のインド・スリランカの旅行でした。

その歯を見ることが出来ないのに、ガイドさんの知り合いがいるというので、近くまで寄って見ることも出来ました。みんなの前で僕たち十何人の中に入ってゆき、少し緊張しました。しかしこれはもう一生の思い出です。金の釣りがねのようなものにはダイヤでしょう。もう、この世の宝石をクリスマスツリーに飾るかのようになりばめられていました。ひとつお土産に持って帰りました。





カメラ通信

□□仏青 スキー泊研修旅行会□□↑

1月23・24日、由仁町本覚寺・夕張レースイスキー場を会場に上記研修会が開催された。参加者は約20名と若干少数ではあったものの本覚寺から参加の若男女が中心になって場を盛り上げてくれた。お寺に泊まったの食事の用意、夜のゲーム、翌日のスキー等々、有意義な2日間であった。

□□空知南組同朋研修会□□⇒

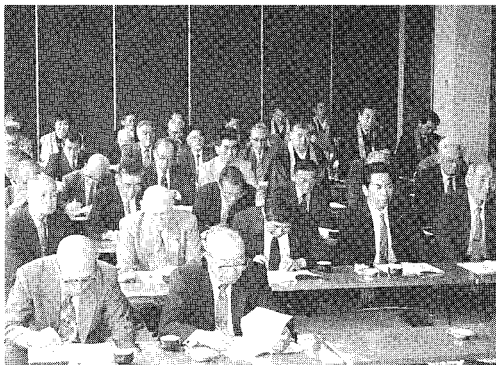
2月4日、空知南組同朋研修会。北塔光昇氏を御講師にお迎えし、「平等と差別」についてお話をいただきました。サンブラザにて。

□□第2回 日校研修会□□⇒

4月2日、峰延蓮教寺に於いて上記研修会が開催された。70数名の仏の子供たちは、先生の法話・仏事作法の話等に熱心に耳をかたむけていた。仏教讃歌の練習の後昼食。午後からは、各日校からの出し物が紹介された。紙芝居あり演劇ありダンスあり歌ありと、ゲームを含めて賑やかで楽しい1日はあっという間に過ぎていきました。

□□空知南組総代会□□↓ ⇨

6月24日、長沼町誓報寺を会場に組総代会が開催された。今年は総会后長沼温泉でジンギスカンパーティを開き、各寺総代の親睦を深めました。参加者数70人。講師は東大名誉教授の早島鏡正氏でした。



曹洞宗の教化と

その周辺

今回は曹洞宗のお寺を訪ね教化並びにその資料等についてお話しをお伺い致しました。

お訪ねしましたお寺は長沼町良昭寺さんです。

ご住職はまだ四十才。全国曹洞宗青年会の事務局長をされ全国を駆け巡っている新進気鋭の方です。いま、曹洞宗では「大衆教化の接点を求めて」を基本目標に「弔事としての仏教」ではなく「慶事としての仏教」を全面に掲げ「生きるための仏教・生きる支えとしての仏教」の実践に取り組んでいます。

特に仏前結婚式の推進にあたりより多くの壇信徒の方にアピールするためにポスターの作成、またマニュアルを作成しその普及に努め、又、四月八日「釈尊降誕会」を広く一般にアピールするために、全国五千名の青年僧侶を動員し、一万五千軒の加盟店を持つ日本生花商協会にキャンペーンポスター、

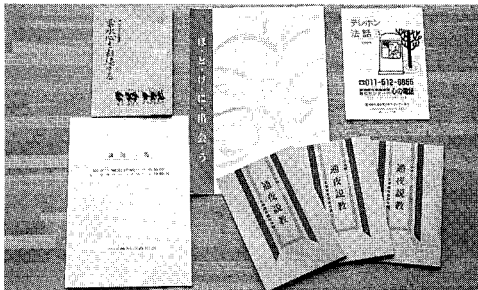
六十万枚メッセージカードを一万円の経費をかけて作成、配布し「花祭りキャンペーン」を繰り広げています。

次に道内の教化に目を転じますと、これまたすごいです。十年前より離島伝道を行い講師の派遣、伝道車による広報、映画上映等を積極的に展開しています。

又、年一度札幌市民会館に於いて「禅の集い」を開催し著名な講師を招いて講演会。ラジオ電波を借りての法話等々。

変わった所では、通夜説教「法話シリーズ」を布教師会で発行し各寺に配布されているそうです。

お話しをお伺いし大変勉強になりました。伝道教団と標ぼうしている我が教団ではありますがその実態はと言いますとお粗末な感じがりと今回の曹洞宗の教化とその周辺のお話しを聞くにつけ感じさせられたことです。



総代会主催ゴルフ大会御案内

初めての試みであります「ゴルフ大会」を下記の要領で行いたく思います。老若男女を問わず、沢山の方々を、お誘いの上御参加下さい。楽しい一日を過ごしたく思います。

記

日時 9月28日(火) 午前11時集合
正午12時スタート
場所 北海道リンクスゴルフ倶楽部
美唄コース

参加対象者
御門徒の方ならどなたでも可能

日校一泊研修会

とき 7月27日・28日
ところ 幌加内 ふれあいの家
『円/まどか』
対象 小・中学生
定員 100名

(宿泊施設・バスの関係上、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

内容 和紙づくり・うどんづくり・ゲーム等

チョットいっしょ

美唄正教寺坊守永岡恵津子様が
民生委員に任命されました。

茶志内法王寺で、3月26日若
院松山教宗氏の得度報告法要が
盛大に勤められました。招待法
中多数と門信徒で満堂の本堂は
お喜びのお念仏が響き渡りまし
た。

★峰延蓮教寺若院、山崎徳成様は
3月に教師を授与され帰院いた
しました。若い力を組内で発揮
されますことを念願致します。

★次の方が教師を授与されました
平成4年11月
西法寺 高村 法保様
平成5年5月
法恩寺 辰田 慶子様
賢誠寺 吉野 由美子様
証法寺 樋浦 恵子様

★志文静雲寺若院さんの部屋がこ
の度増改築されました。もうい
つでもお嫁さんを迎えられる状
態です。お近くをお通りの際は
是非お立ち寄りを！

寺院紹介

正滝寺

- (栗沢町美流渡栄町75)
- 明治41年3月10日・岩見沢村
- ミルトマップに内地
- 大正3年3月7日・説教所開設
- 大正6年・栗沢町字美流渡十六
- 四六番地(現在地)に移転
- 大正10年1月20日・寺号公称
- 大正11年10月・本堂落成
- 昭和49年8月・境内地拡張
(千坪)
- 昭和59年9月・納骨堂建設
- 昭和61年8月・庫裡新築
- 昭和62年・本堂改修
- 昭和63年12月・対面所(広間)
改修
- 歴代住職
- 開基・久保田 正眞
- 二世・久保田 誠眞
- 三世・久保田 一眞

取材メモ

とても美しい自然に囲まれている
当地は、御住職がおっしゃられると
おり、素晴らしい環境に恵まられてい
ます。当地はリングの産地である他
四季の山菜も楽しめます。常時キツ
ネが寺の周りをウロウロする中、法
務の傍らご住職は山菜取り・坊守さ
んは畑仕事と、アットホームな暖か
さが感じられます。特にお寺で有名
なのは、なすびのからし漬(法中
仲間では別名「骨壺」の異名をと
る)と、山や畑でとれたカボチャや
ヨモギを使っつての、坊守さん手作り
のお団子などなど。とにかく、
一度でも二度でもお立ち寄りの上、
大自然の恵を肌で感じていただきた
い所です。マニアックな方はやみつ
きになるかもしれませんよ！

言葉のプレゼント

―表紙のごとびより―

総選挙が始まった。候補者の多
くは神社で必勝祈願し、選挙事務
所には神棚が祀られる。そして死
にもの狂いで選挙戦を戦う。

本当は有権者が審判を下すはず
なのに、最後は神頼みする。「人
事を尽くして天命をまつ」という
ことであろうか。当選すれば天命
の確かなことを称賛し、落ちれば
天命の厳しさを呪う。自らの非を
省りみる人もいるであろうが少な
いように思える。

阿弥陀如来さまは生き方を説か
れなかった。生死苦海に沈む者で
あればこそ、何よりも先に救いが
告げられるのである。それが如来
のお慈悲でありました。

泣いている私も、笑っている私
も、如来のお慈悲の中で生かされ
ている事実が目覚めることが第一
であると清沢満之はいう。
あとは精一杯人事を尽くす「ご
恩報謝」の慶びの毎日であります

編集後記

第十四号をお届けいたします。

今回は他宗派の教化について取材
をしました。お訪ねしたお寺の書
齋で尽きることのないお話し。大
変意義深く、教えられるとともに
考えさせられたひとときでした。
そんな中に次ぎのような話がでま
した。若い坊さんが集まると必ず
始まる話しは、車・ゴルフそし
て?と。これではいけないと発奮
されたのがご紹介しました様々
な教化だそうです。他人事ではあ
りません。

末法の時代教えのみ存在し行も証
もない時代。しかし聖人は末法の
時代なればこそ教行証の三つがあ
るのには真宗だけであると。とする
ならば真宗だけ仏教であるといっ
てもいいのではないのでしょうか。
その聖人の気持ちを感じて教化伝
道に精進せねばならない。曹洞宗
に負けないように。(K・A)

一九九三年七月十五日号

編集

空知南組基推委広報部

発行所

空知南組々長事務所